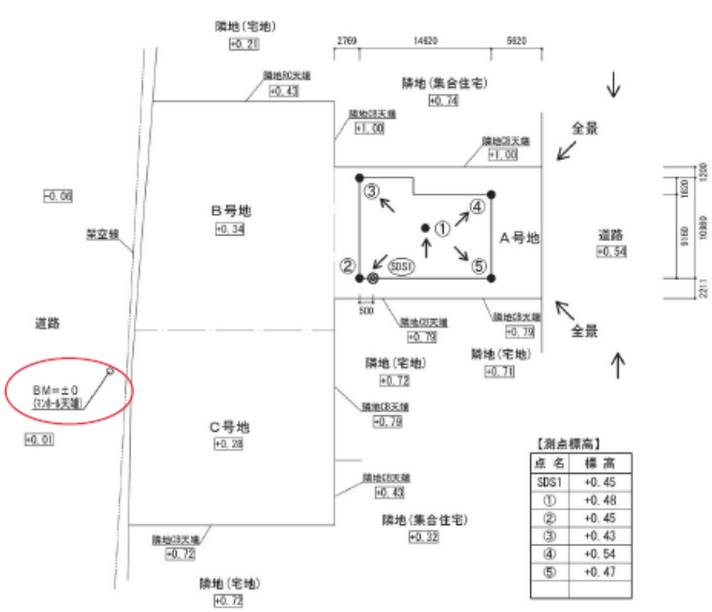
調査敷地状況図

物件名称 安城市今本町PJ D-ROOM新築工事 A棟　様邸



【測点標高】

点名	標高
SDS1	+0.45
①	+0.48
②	+0.45
③	+0.43
④	+0.54
⑤	+0.47

KBM+0.6m

設計GL ~~＝BM+0.5mに~~設定しております。

方向	土地利用状況	高低差	擁壁	法面	建物	変状の有無
東側	道路	+0.1 m				●
南側	宅地/宅地	+0.3/+0.3 m			●	
西側	更地	-0.1 m				
北側	集合住宅	+0.3 m			●	

敷地内高低差	(無)　有　（　　）m

試験結果　スクリューウエイト貫入試験（旧スウェーデン式サウンディング試験）

物件名称	安城市今本町PJ D-ROOM新築工事 A棟　様邸				
調査場所	愛知県安城市今本町四丁目１２番４				
測点番号	001	調査年月日	2025年10月15日	設計GL	調査GL＋0.02 m
調査GL	BM　＋0.48 m	最終貫入深さ	1.66 m	試験者	市村　幸司
水位	無	天候	雨	試験方法	機械式

荷重 Wsw (KN)	半回転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの半回転数 (Nsw)	記事 音感・感触	記事 貫入状態	記事 推定土質	推定柱状図	荷重 Wsw(KN) 0 0.25 0.50 0.75 1	貫入量1m当りの半回転数 Nsw 50 100 150 200	換算N値 N´	許容支持力 qa (KN/㎡)	
1.00	75	0.25	25	300			砂質土(礫土)				22.1	＞120	【設計GL】+0.12m
1.00	51	0.50	25	204			砂質土(礫土)				15.6	＞120	【杭頭高さ】−0.23m
1.00	5	0.75	25	20			粘性土				4.0	42.0	
1.00	13	1.00	25	52			粘性土				5.6	61.2	
1.00	83	1.25	25	332		打撃	砂質土				24.2	＞120	
1.00	122	1.50	25	488		打撃	砂質土				34.6	＞120	
1.00	141	1.66	16	881		打撃	砂質土				61.0	＞120	【鋼管先端】−1.81m

平均先端N値
（【25】+【25】+【25】+【25】）/4=25

※換算N値（N´）は、次式を使用しています。砂質土：N´=2Wsw+0.067Nsw　粘性土：N´=3Wsw＋0.050Nsw
※許容支持力（qa）は、次式を使用しています。qa=30Wsw＋0.6Nsw

記事		大和ハウス工業株式会社	承認 管理建築士	照査	代表となる設計者		工事名称	(集合分譲)安城市今本町PJ D-ROOM新築工事A棟	作成年月日	図面番号
			亀山	加古	一級建築士 第301752号 大山　亘				26/01/05	87−20631
		中部集合住宅一級建築士 事務所	その他の設計者		企画製図	生産製図 / LC			縮　尺	S00.1
					高谷		図面名称	地盤調査結果(1)	工事番号 1142572700002	図面保管区分

Confidential

工事投入　2026/01/06

試験結果　スクリューウエイト貫入試験（旧スウェーデン式サウンディング試験）

物件名称	安城市今本町PJ D-ROOM新築工事 A棟　様邸					
調査場所	愛知県安城市今本町四丁目１２番４					
測点番号	002	調査年月日	2025年10月15日	設計GL	調査GL＋0.05 m	
調査GL	BM　＋0.45 m	最終貫入深さ	2.54 m	試験者	市村　幸司	
水位	無	天候	雨	試験方法	機械式	

荷重 Wsw (KN)	半回転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの半回転数 (Nsw)	記事 音感・感触	記事 貫入状態	推定土質	推定柱状図	荷重 Wsw(KN) 0 0.25 0.50 0.75 1	貫入量1m当りの半回転数 Nsw 50 100 150 200	換算N値 N´	許容支持力 qa (KN/㎡)
1.00	39	0.25	25	156			砂質土(礫土)				12.4	> 120
1.00	15	0.50	25	60			砂質土(礫土)				6.0	66.0
1.00	2	0.75	25	8			粘性土				3.4	34.8
1.00	11	1.00	25	44			粘性土				5.2	56.4
1.00	105	1.25	25	420		打撃	砂質土				30.1	> 120
1.00	100	1.50	25	400		打撃	砂質土				28.8	> 120
1.00	50	1.75	25	200			砂質土				15.4	> 120
1.00	51	2.00	25	204			砂質土				15.6	> 120
1.00	36	2.25	25	144			砂質土				11.6	116.4
1.00	33	2.50	25	132			砂質土				10.8	109.2
1.00	101	2.54	4	2525		打撃	砂質土				171.1	> 120

【設計GL】+0.15m
【杭頭高さ】−0.20m
【鋼管先端】−1.78m

平均先端N値
（【25】+15.4+15.6+11.6)/4=16.9

※換算N値(N´)は、次式を使用しています。砂質土:N´=2Wsw+0.067Nsw　粘性土:N´=3Wsw＋0.050Nsw
※許容支持力(qa)は、次式を使用しています。qa=30Wsw＋0.6Nsw

試験結果　スクリューウエイト貫入試験（旧スウェーデン式サウンディング試験）

物件名称	安城市今本町PJ D-ROOM新築工事 A棟　様邸					
調査場所	愛知県安城市今本町四丁目１２番４					
測点番号	003	調査年月日	2025年10月15日	設計GL	調査GL＋0.07 m	
調査GL	BM　＋0.43 m	最終貫入深さ	1.65 m	試験者	市村　幸司	
水位	無	天候	雨	試験方法	機械式	

荷重 Wsw (KN)	半回転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの半回転数 (Nsw)	記事 音感・感触	記事 貫入状態	推定土質	推定柱状図	荷重 Wsw(KN) 0 0.25 0.50 0.75 1	貫入量1m当りの半回転数 Nsw 50 100 150 200	換算N値 N´	許容支持力 qa (KN/㎡)
1.00	13	0.25	25	52			砂質土(礫土)				5.4	61.2
1.00	23	0.50	25	92			砂質土(礫土)				8.1	85.2
1.00	6	0.75	25	24			粘性土				4.2	44.4
1.00	6	1.00	25	24			粘性土				4.2	44.4
1.00	11	1.25	25	44			粘性土				5.2	56.4
1.00	31	1.50	25	124			砂質土				10.3	104.4
1.00	109	1.65	15	727		打撃	砂質土				50.6	> 120

【設計GL】+0.17m
【杭頭高さ】−0.18m
【鋼管先端】−1.76m

平均先端N値
（10.3+【25】+【25】+【25】)/4=21.3

※換算N値(N´)は、次式を使用しています。砂質土:N´=2Wsw+0.067Nsw　粘性土:N´=3Wsw＋0.050Nsw
※許容支持力(qa)は、次式を使用しています。qa=30Wsw＋0.6Nsw

記事

大和ハウス工業株式会社

中部集合住宅一級建築士 事務所

承認 管理建築士	照査	代表となる設計者	工事名称	作成年月日	図面番号
亀山	加古	一級建築士 第301752号 大山　亘	(集合分譲)安城市今本町PJ D-ROOM新築工事A棟	26/01/05	87-20631
その他の設計者		企画製図 高谷 / 生産製図 / LC	図面名称 地盤調査結果(2)	縮尺 S00.2 / 工事番号 1142572700002	図面保管区分

Confidential

工事投入　2026/01/06

試験結果　スクリューウエイト貫入試験（旧スウェーデン式サウンディング試験）

物件名称	安城市今本町PJ D-ROOM新築工事 A棟　様邸					
調査場所	愛知県安城市今本町四丁目１２番４					
測点番号	004	調査年月日	2025年10月15日	設計GL	調査GL−0.04 m	
調査GL	BM　+0.54 m	最終貫入深さ	2.50 m	試験者	市村　幸司	
水位	無	天候	雨	試験方法	機械式	

荷重 Wsw (KN)	半回転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの半回転数 (Nsw)	記事 音感・感触	記事 貫入状態	推定土質	推定柱状図	荷重 Wsw(KN) 0 0.25 0.50 0.75 1	貫入量1m当りの半回転数 Nsw 50 100 150 200	換算N値 N´	許容支持力 qa (KN/m²)	
1.00	38	0.25	25	152		打撃	砂質土(礫土)				12.1	> 120	【設計GL】+0.06m
1.00	26	0.50	25	104			砂質土(礫土)				8.9	92.4	【杭頭高さ】−0.29m
1.00	4	0.75	25	16			粘性土				3.8	39.6	
1.00	5	1.00	25	20			粘性土				4.0	42.0	
1.00	26	1.25	25	104			砂質土				8.9	92.4	
1.00	85	1.50	25	340		打撃	砂質土				24.7	> 120	
1.00	45	1.75	25	180			砂質土				14.0 採用N値	> 120	【鋼管先端】−1.87m
1.00	47	2.00	25	188			砂質土				14.5	> 120	
1.00	51	2.25	25	204			砂質土				15.6	> 120	
1.00	155	2.50	25	620		打撃	砂質土				43.5	> 120	

平均先端N値
（24.7+14.0+14.5+15.6)/4=17.2

※換算N値(N´)は、次式を使用しています。砂質土:N´=2Wsw+0.067Nsw　粘性土:N´=3Wsw+0.050Nsw
※許容支持力(qa)は、次式を使用しています。qa=30Wsw+0.6Nsw

試験結果　スクリューウエイト貫入試験（旧スウェーデン式サウンディング試験）

物件名称	安城市今本町PJ D-ROOM新築工事 A棟　様邸					
調査場所	愛知県安城市今本町四丁目１２番４					
測点番号	005	調査年月日	2025年10月15日	設計GL	調査GL+0.03 m	
調査GL	BM　+0.47 m	最終貫入深さ	2.12 m	試験者	市村　幸司	
水位	無	天候	雨	試験方法	機械式	

荷重 Wsw (KN)	半回転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの半回転数 (Nsw)	記事 音感・感触	記事 貫入状態	推定土質	推定柱状図	荷重 Wsw(KN) 0 0.25 0.50 0.75 1	貫入量1m当りの半回転数 Nsw 50 100 150 200	換算N値 N´	許容支持力 qa (KN/m²)	
1.00	30	0.25	25	120			砂質土(礫土)				10.0	102.0	【設計GL】+0.13m
1.00	11	0.50	25	44			砂質土(礫土)				4.9	56.4	【杭頭高さ】−0.22m
1.00	8	0.75	25	32			粘性土				4.6	49.2	
1.00	13	1.00	25	52			粘性土				5.6	61.2	
1.00	28	1.25	25	112			砂質土				9.5	97.2	
1.00	61	1.50	25	244			砂質土				18.3	> 120	
1.00	75	1.75	25	300			砂質土				22.1	> 120	【鋼管先端】−1.80m
1.00	69	2.00	25	276			砂質土				20.4	> 120	
1.00	126	2.12	12	1050		打撃	砂質土				72.3	> 120	

平均先端N値
（18.3+22.1+20.4+【25】)/4=21.4

※換算N値(N´)は、次式を使用しています。砂質土:N´=2Wsw+0.067Nsw　粘性土:N´=3Wsw+0.050Nsw
※許容支持力(qa)は、次式を使用しています。qa=30Wsw+0.6Nsw

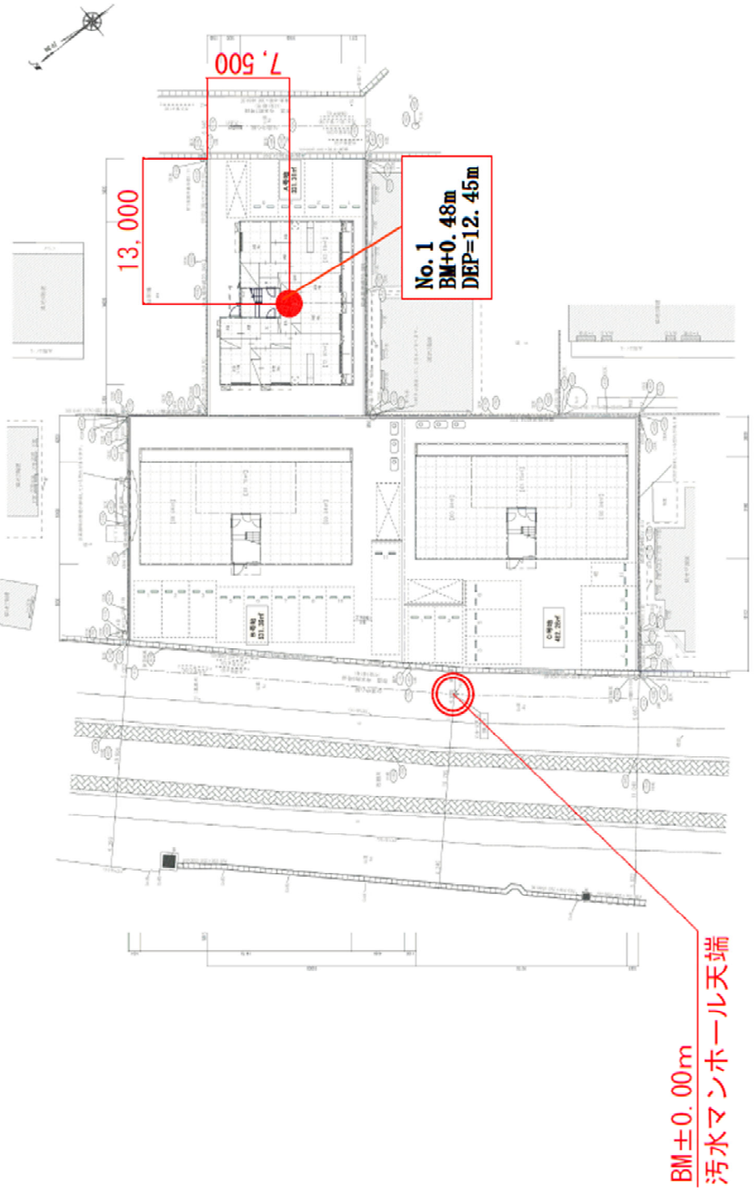
記事		大和ハウス工業株式会社	承認 管理建築士 亀山 / 照査 加古	代表となる設計者 一級建築士 第301752号 大山 亘	工事名称	(集合分譲)安城市今本町PJ D-ROOM新築工事A棟	作成年月日 26/01/05	図面番号 87-20631
		中部集合住宅一級建築士 事務所	その他の設計者	企画製図 高谷 / 生産製図 / LC	図面名称	地盤調査結果(3)	縮尺 S00.3 / 工事番号 1142572700002	図面保管区分

Confidential

工事投入　2026/01/06

調査位置平面図

縮尺：1/500



ボーリング柱状図

調　査　名　安城市今本町PJ D-ROOM新築工事A棟

事業・工事名

ボーリングNo 1

シートNo

ボーリング名	No.1	調査位置	安城市今本町四丁目12番4			北緯	34° 59' 42"
発注機関	大和ハウス工業株式会社			調査期間	令和 7年 10月 8日 ～ 7年 10月 8日	東経	137° 04' 41"
調査業者名	大和ランテック株式会社 電話（06-4391-8923）	主任技師	安居哲朗	現場代理人	小酒井聡太	コア鑑定者	吉岡昇一郎	ボーリング責任者	米谷　瞭
孔口標高	BM +0.48m	角度	上 180° 90° 0° 下	方向	北 0° 西 270° 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	YBM05-DA2	ハンマー落下用具	半自動落下装置
総掘進長	12.45m								エンジン	TF90M	ポンプ	KANO V-5

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
	0.18	0.30	0.30		盛土（礫混じり細中砂）	褐灰			含水小位 粒子不均一 φ2～40mmの亜円～亜角礫を混入する		0.65	2	2	2	6/30	6							
	-0.42	0.60	0.90		盛土（礫混じり細中砂（シルト質シルト）	褐			粘性小～中位 細礫を点在する		0.95	2	2	2	6/30	6							
1											1.15												
											1.45	3	2	3	8/30	16							
2											2.15												
											2.45	5	6	5	16/30	16							
3											3.15												
					礫混じり細中砂	褐／褐灰	緩い／中位の		含水小～中位 粒子不均一 φ2～20mmの亜円～亜角礫を混入する GL-3m以深、全体にシルトを混在する GL-3.1～3.4m間、シルトを挟む		3.45	6	8	11	25/30	25							
4											4.15												
											4.45	5	5	4	14/30	14							
5	-5.02	4.60	5.50								5.15												
											5.45	1	1	1	3/30	3			6.00	T-1	⑦	一軸圧縮	
6											6.15												
											6.45	1	2	1	4/30	4			6.45				
7											7.15												
											7.45	1	2	1	4/30	4							
8											8.15												
					シルト	淡褐灰／灰／青灰		軟らかい／非常に硬い	粘性中～大位 GL-7～9m間、腐植物を混入する GL-9m以深、比較的均質		8.45	4	4	4	12/30	12							
9											9.15												
											9.45	6	6	11	23/30	23							
10	-9.87	4.85	10.35								10.15												
											10.45	10	10	10	30/30	30							
11											11.15												
					シルト混じり細中砂	青灰	中位の／密な		含水中位 粒子不均一 全体に少量のシルトを混入し部分的にφ2～5mmの細礫を点在する		11.45	8	9	10	27/30	27							
12	-11.97	2.10	12.45								12.15												
											12.45												

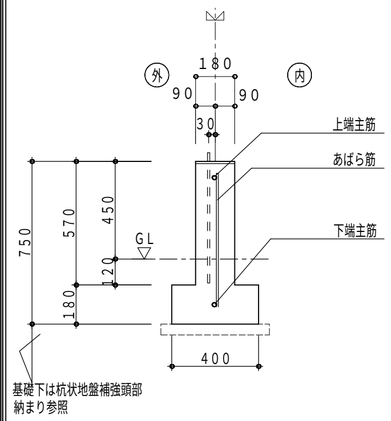
記事									
	大和ハウス工業株式会社	承認 管理建築士 亀山	照査 加古	代表となる設計者 一級建築士 第301752号 大山　亘		工事名称	(集合分譲)安城市今本町PJ D-ROOM新築工事A棟	作成年月日 26/01/05	図面番号 87-20631
	中部集合住宅一級建築士 事務所	その他の設計者		企画製図 高谷	生産製図 / LC			縮尺	S00.4
						図面名称	ボーリング調査	工事番号 1142572700002	図面保管区分

Confidential

工事投入　2026/01/06

PS2AGN−40S

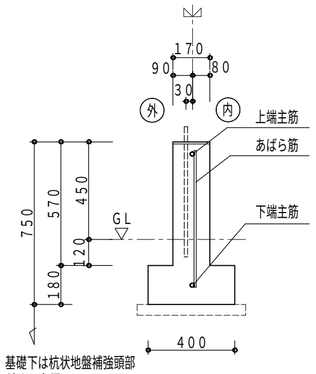
杭状地盤補強用　外壁線布基礎（袖壁下用）



上端主筋	1−D19（SD345）
下端主筋	1−D19（SD345）
腹筋	−
あばら筋	D10 @220
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

PY2AGN−40

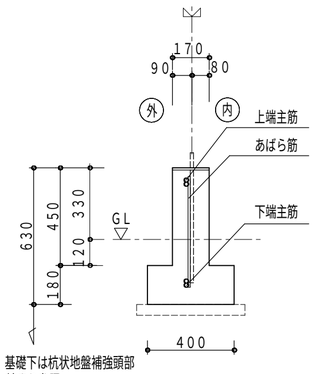
杭状地盤補強用　外壁線布基礎



上端主筋	1−D19（SD345）
下端主筋	1−D19（SD345）
腹筋	−
あばら筋	D10@304
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

PS2AGN−40C1

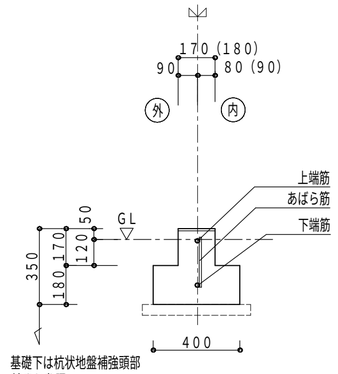
杭状地盤補強用　外壁線布基礎　上端カット



上端主筋	1−D19（SD345）+1−D16
下端主筋	1−D19（SD345）+1−D16
腹筋	−
あばら筋	D10@220
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

PS2AGN−40（S）A3

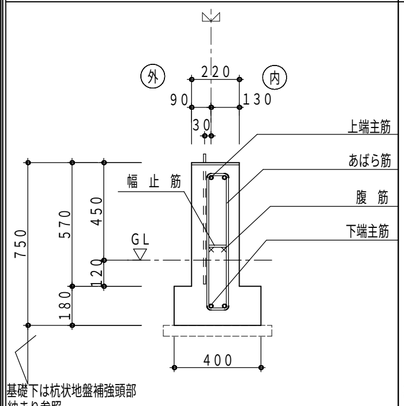
杭状地盤補強用　外壁線布基礎（上端カット）



上端筋	1−D19（SD345）
下端筋	1−D19（SD345）
腹筋	−
あばら筋	D10@220
ベース主筋	−
ベース補助筋	−

PW2AGN−40

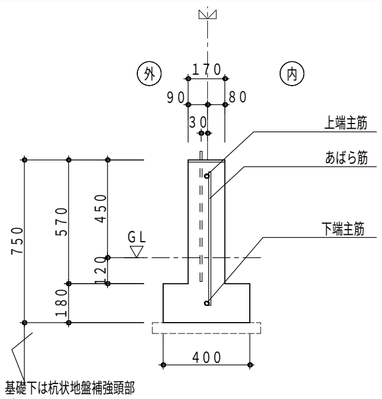
杭状地盤補強用　外壁線布基礎（補強用）



上端主筋	2−D19（SD345）
下端主筋	2−D19（SD345）
腹筋	2−D10
幅止筋	1−D10 @1000
あばら筋	□−D10 @250
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

PS2AGN−40

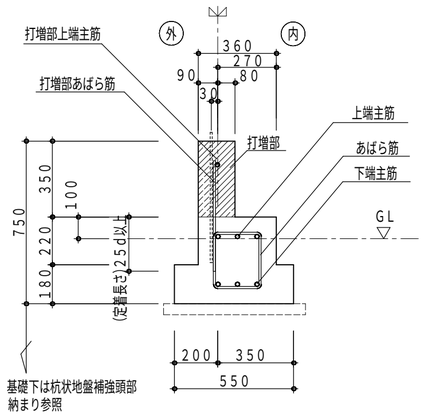
杭状地盤補強用　外壁線布基礎



上端主筋	1−D19（SD345）
下端主筋	1−D19（SD345）
腹筋	−
あばら筋	D10 @220
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

PS2AGN−55PF

杭状地盤補強用　外壁線布基礎（ガレージ用　打増部）

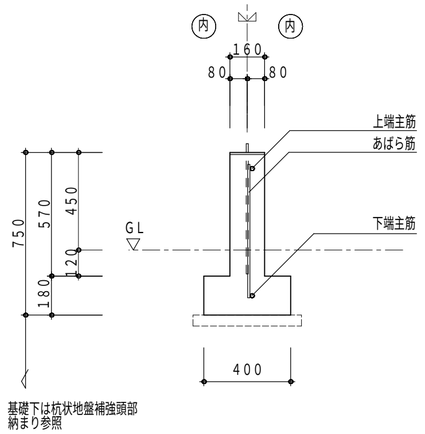


打増部（斜線部）は斜線部以外と一体でコンクリート打設すること

打増部上端主筋	1−D19（SD345）
打増部あばら筋	1−D10 @190
上端主筋	3−D19（SD345）
下端主筋	3−D19（SD345）
あばら筋	□−D10 @190
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

PS2AMN−40

杭状地盤補強用　間仕切布基礎



上端主筋	1−D19（SD345）
下端主筋	1−D19（SD345）
腹筋	−
あばら筋	D10@220
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

1148720631800O　2025/12/25

記事

※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。

ハウス用　バックオフィス問合先　施工店用

大和ハウス工業株式会社

中部集合住宅一級建築士事務所

承認	照査	代表となる設計者
	加古	一級建築士　第301752号 大山　亘

その他の設計者

企画製図	生産製図	IC
高谷	大連（名古屋）	

工事名称	（集合分譲）安城市今本町ＰＪ Ｄ−ＲＯＯＭ新築工事Ａ棟
図面名称	各伏図

作成年月日

縮尺

工事番号　1142572700002

図面番号　S−01

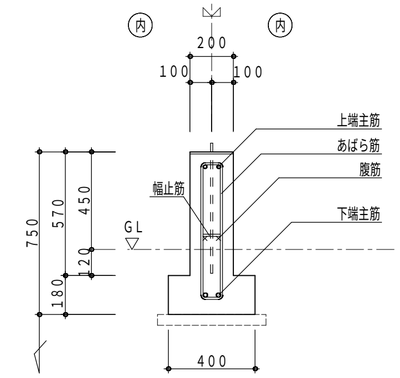
保管図面区分　【伏図】

Ver　25110　102194

工事投入　2026/01/06

PW2AMN－40

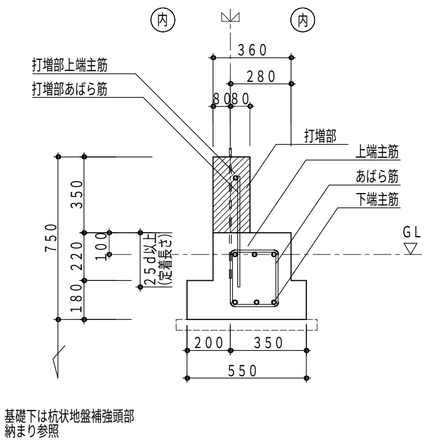
杭状地盤補強用　間仕切布基礎（補強用）



上　端　主　筋	2－D16
下　端　主　筋	2－D19（SD345）
腹　　筋	2－D10
幅　止　筋	1－D10@1000
あばら　筋	□－D10@250
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

PS2AMN－55PF

杭状地盤補強用　間仕切布基礎（ガレージ用　打増部）

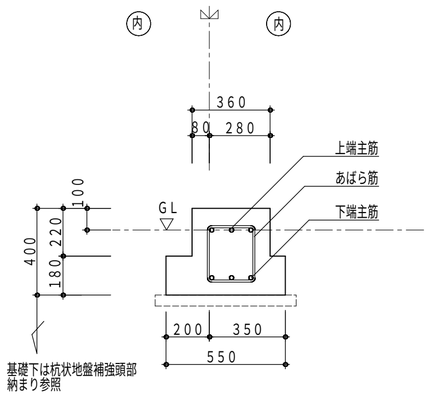


打増部（斜線部）は斜線部以外と一体でコンクリート打設すること

打増部上端主筋	1－D19（SD345）
打増部あばら筋	1－D10@190
上　端　主　筋	3－D19（SD345）
下　端　主　筋	3－D19（SD345）
あばら　筋	□－D10@190
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

PS2AMN－55P

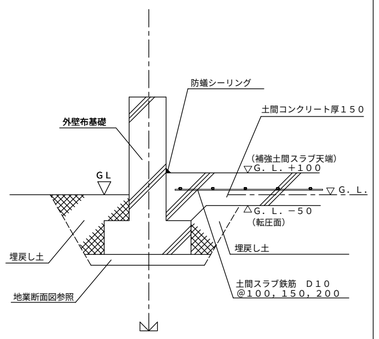
杭状地盤補強用　間仕切布基礎（ガレージ用）



上　端　主　筋	3－D19（SD345）
下　端　主　筋	3－D19（SD345）
あばら　筋	□－D10@190
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

凡例

補強土間スラブ

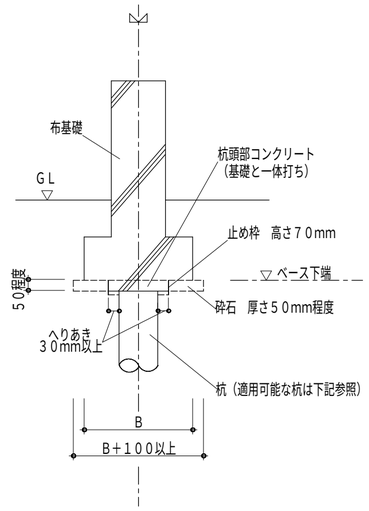


凡例

地業断面図　　D地盤

杭地業タイプA

止め枠（鋼管またはVU管）を用いる仕様



適用可能杭

- 小口径鋼管杭工法
- D－TEC　SPAIRAL工法
- 木杭工法
- 既成コンクリート杭工法
  （PC杭、RC杭、H型PC杭）
- 現場打ちコンクリート杭工法
- ピュアパイル工法

等、杭径が小さいもので
かつ、止め枠がベースからはみ出さないもの

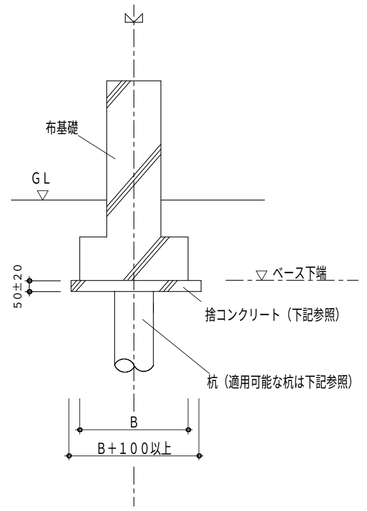
凡例

地業断面図　　D地盤

杭地業タイプB

止め枠を使用せず、捨コンクリートをいったん打設した後に
基礎本体の打設を行う仕様

小口径鋼管杭工法等の場合



適用可能杭

- 小口径鋼管杭工法
- D－TEC　SPAIRAL工法
- 木杭工法
- 既成コンクリート杭工法
  （PC杭、RC杭、H型PC杭）
- 現場打ちコンクリート杭工法
- ピュアパイル工法

等、杭径が小さいもの。

捨コンクリート

捨コンクリート
（品質基準強度　Fq＝
21N／mm²　＋構造体強度補正値　以上）
※構造体補正値については、
JASS5　5節5．2を参照

1148720631800O　2025/12/25

記事

※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。

ハウス用　バックオフィス問合先　施工店用

大和ハウス工業株式会社

中部集合住宅一級建築士事務所

承認	照査	代表となる設計者
	加古	一級建築士　第301752号 大山　亘
その他の設計者	企画製図	生産製図
	高谷	大連（名古屋）

工事名称	（集合分譲）安城市今本町ＰＪ D－ROOM新築工事A棟
図面名称	各伏図
作成年月日	
縮尺	
工事番号	1142572700002
図面番号	S－02
保管図面区分	【伏図】

Ver　25110　102194

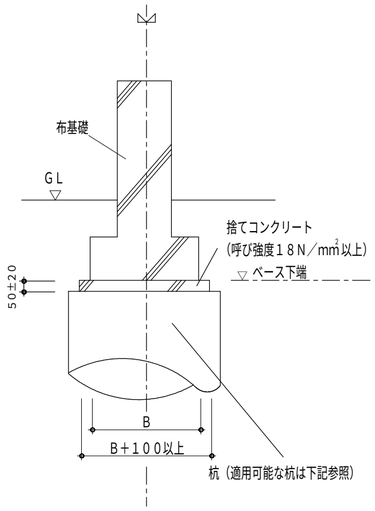
工事投入　2026/01/06

凡例	凡例
地業断面図　Ｄ地盤	Ｄ地盤における基礎の地業

杭地業タイプＢ

止め枠を使用せず、捨コンクリートをいったん打設した後に
基礎本体の打設を行う仕様

柱状改良工法等の場合



適用可能杭

- 柱状改良工法
- タイガーパイル工法
- Ｎｅｗタイガーパイル工法
- しん兵衛工法

等、杭径が大きいもの。

- Ｄ地盤の基礎の地業の捨コンクリートは、
  厚さ５０±２０の範囲で施工すること。
- 杭地業タイプＡの場合は
  砕石地業施工要領（小口径鋼管杭）
  ［Ｂ１００－１０１－０１１］参照のこと。
- 各杭工法の適用範囲及び設計条件は、
  各杭工法毎の第三者機関による
  認定内容に従うものとする。
- 各杭工法の採用できる杭径は、
  杭設計システムに登録されているものに限る。
- 自社工法（Ｄ－ＴＥＣ　ＰＩＬＥ工法、
  Ｄ－ＴＥＣ　ＰＩＬＥ工法ＩＩ、
  Ｄ－ＴＥＣ　ＳＰＩＲＡＬ工法）
  柱状改良工法以外の杭工法の
  設計施工基準については、
  施工会社に確認するものとする。

記事

※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。

バックオフィス問合先
ハウス用　施工店用

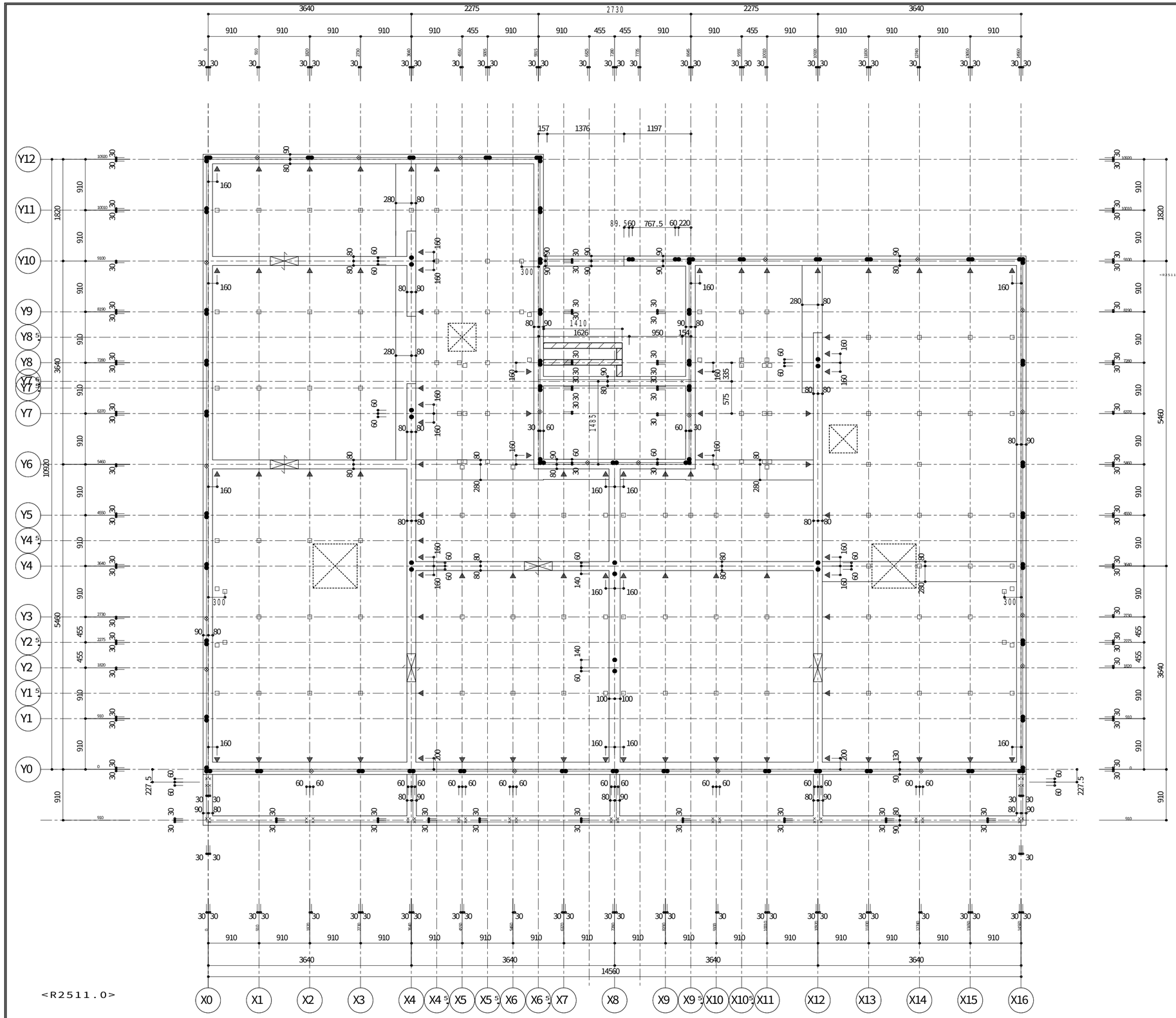
大和ハウス工業株式会社
中部集合住宅一級建築士事務所

承認	照査	代表となる設計者		
	加古	一級建築士　第301752号 大山　亘		
その他の設計者		企画製図	生産製図	ＩＣ
		高谷	大連 （名古屋）	

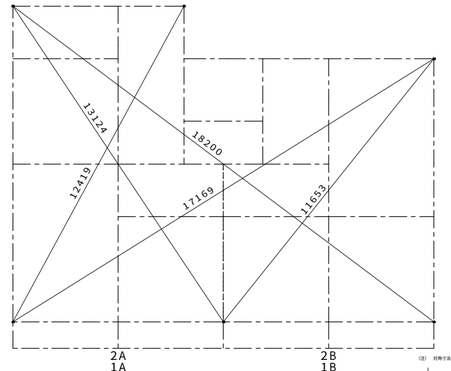
工事名称	（集合分譲）安城市今本町ＰＪ Ｄ－ＲＯＯＭ新築工事Ａ棟	作成年月日	図面番号 Ｓ－03
図面名称	各伏図	縮尺	
		工事番号 1142572700002	保管図面区分 【伏図】

Ver　25110　102194

工事投入　2026/01/06



【基礎立上り・アンカー伏図】ＨＶ５２　Ｓ＝１／５０



【対角寸法図】ＨＶ０３　Ｓ＝１／１５０

凡 例

(注) コンクリート設計基準強度

基礎　　：２４Ｎ／平方ミリとする。

（※対象部位：布基礎、独立基礎、くい基礎用１階床スラブ、くい基礎１階床束用補強基礎及び補強束ベース）

土間コン（無筋の場合）：１８Ｎ／平方ミリ以上とする。

凡 例

アンカーボルト

● ＤＭ１６　Ｉ型　Ｍ１６　Ｌ＝５２０（出寸法４５　※玄関独立柱部　標準基礎　３０　Ｃ１基礎　４５）

× ＬＭ１２　Ｌ型　Ｍ１２　Ｌ＝３００（出寸法３０　※螺旋階段部４０）

▪ Ｍ８　Ｌ＝３００（出寸法１００）　出寸法

⊕ ＤＨＭ１６　Ｉ型　Ｍ１６　Ｌ＝６００（出寸法４５　※深基礎３００ＤＮのみ）

◈ ＬＭ１６　Ｌ型　Ｍ１６　Ｌ＝４００（出寸法４５）
※ＤＭ１６を代わりに用いても可

床下換気孔（丸型）　２００φ

床下貫通口　５００×３００
６００×２００
４００×２００

スリーブ鋼製束　ＮＬＫ－３Ｎ　ＮＬＫ－２３Ｎ　ＮＬＫ－４Ｎ

大引固定金物　インサートナット

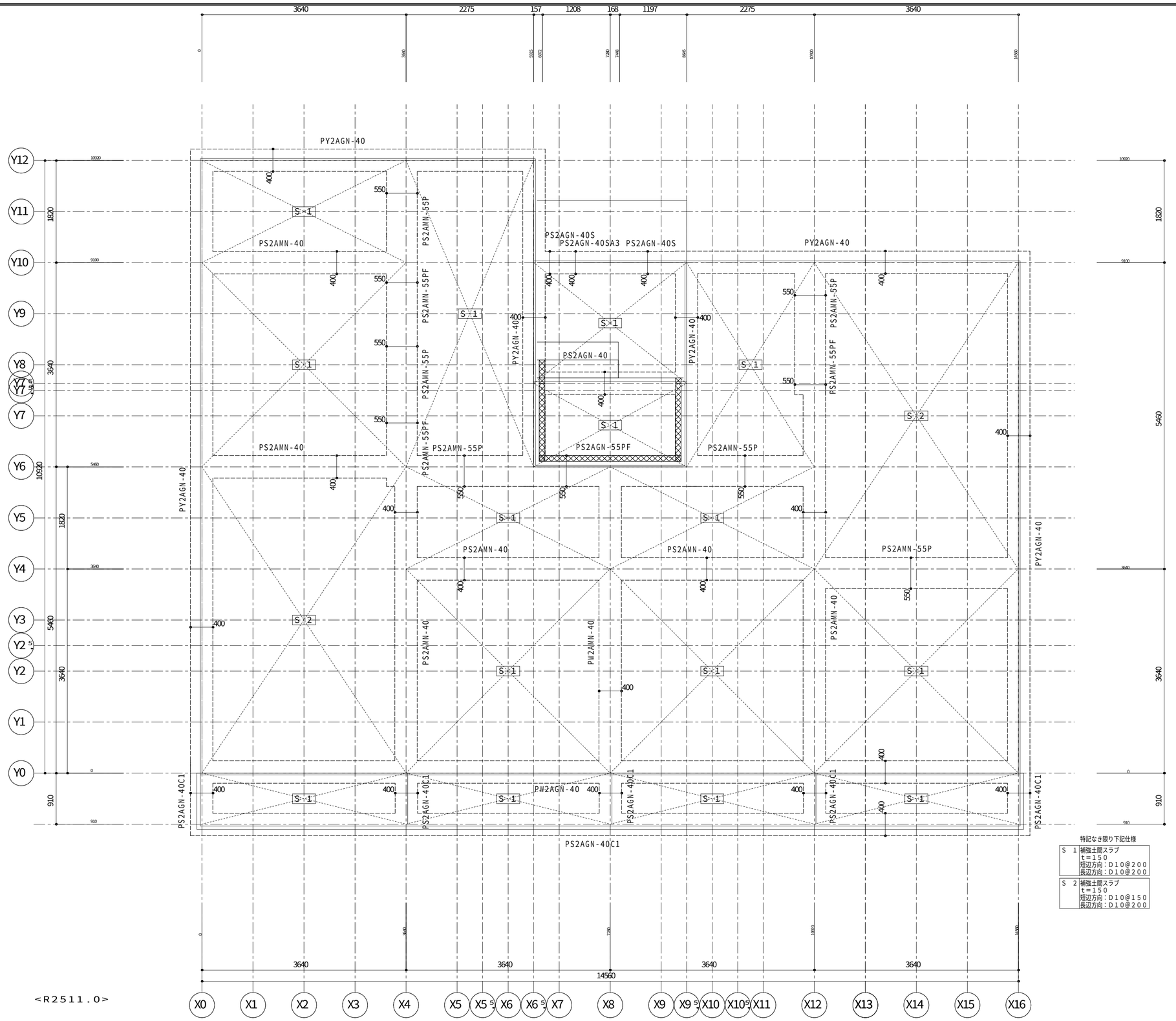
1148720631800O　2025/12/25

記事	※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。	バックオフィス問合先 ハウス用 / 施工店用	大和ハウス工業株式会社 中部集合住宅一級建築士事務所	承認 / 照査 加古	代表となる設計者 一級建築士　第301752号 大山　亘	工事名称	（集合分譲）安城市今本町ＰＪ ＤーROOM新築工事A棟
				その他の設計者	企画製図 高谷 / 生産製図 大連（名古屋） / ＩＣ	図面名称	各伏図

作成年月日	図面番号
縮尺	S−04
工事番号 1142572700002	保管図面区分 【伏図】

Ver　25110　102194

工事投入　2026/01/06



土間仕様
補強土間スラブ
土間コンクリート　　ｔ＝１５０

特記なき限り下記仕様

S 1	補強土間スラブ ｔ＝１５０ 短辺方向：Ｄ１０@２００ 長辺方向：Ｄ１０@２００
S 2	補強土間スラブ ｔ＝１５０ 短辺方向：Ｄ１０@１５０ 長辺方向：Ｄ１０@２００

凡 例

(注) コンクリート設計基準強度

基礎　　：２４Ｎ／平方ミリとする。

（※対象部位：布基礎、独立基礎、くい基礎用１階床スラブ、くい基礎１階床束用補強基礎及び補強床束ベース）

土間コン（無筋の場合）：１８Ｎ／平方ミリ以上とする。

凡 例

：補強床束ベース

：補強土間スラブ

：屋外粒状防蟻剤

<R2511.0>

【基礎ベース・土間伏図】ＨＶ５３　Ｓ＝１／５０

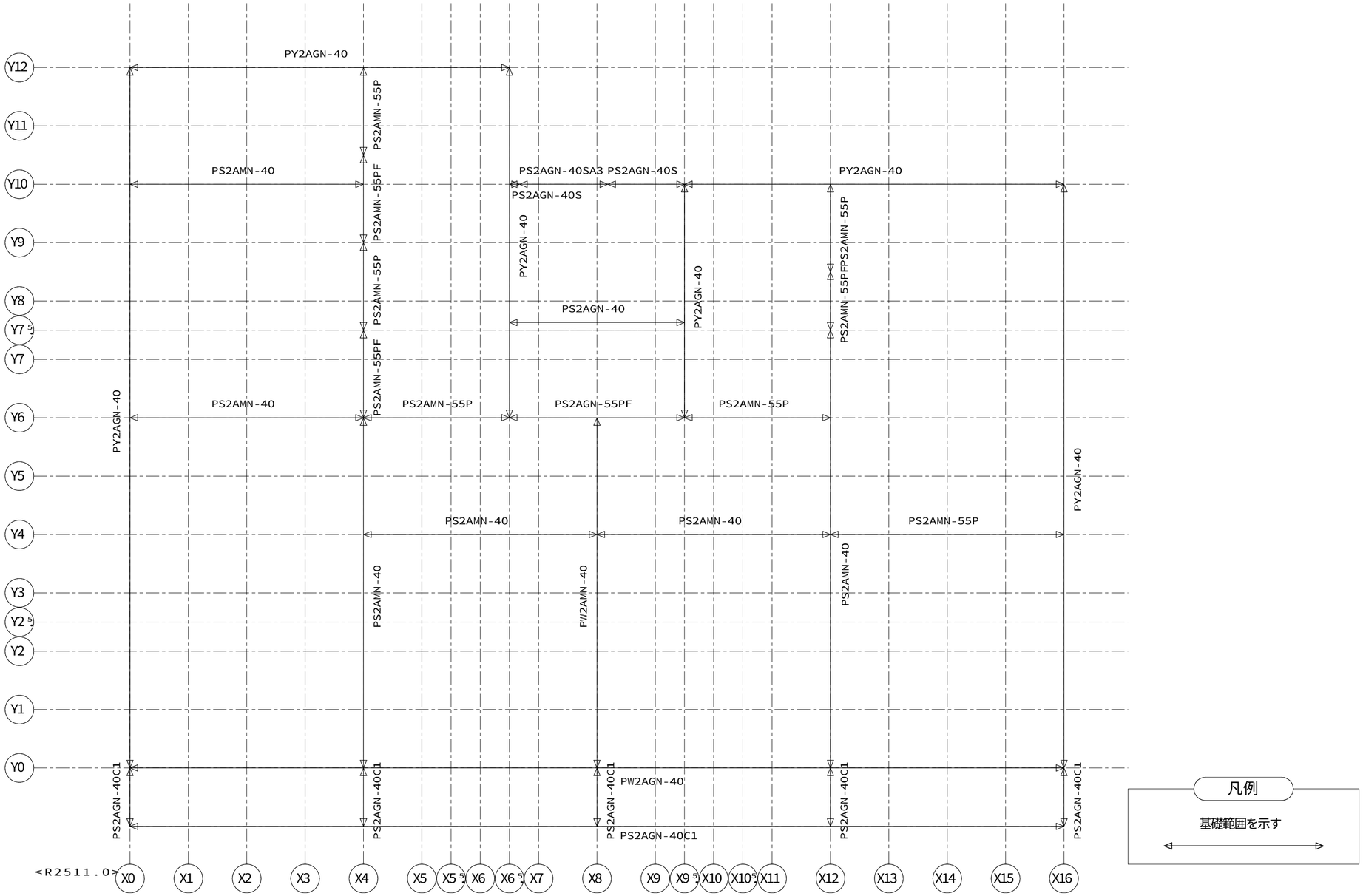
11487206318000　2025/12/25

記事	ハウス用 / バックオフィス問合先 / 施工店用	大和ハウス工業株式会社 中部集合住宅一級建築士事務所	承認	照査	代表となる設計者 一級建築士　第301752号 大山　亘	工事名称	（集合分議）安城市今本町ＰＪ Ｄ－ＲＯＯＭ新築工事Ａ棟	作成年月日	図面番号 Ｓ－05
				加古				縮尺	
			その他の設計者		企画製図 高谷	生産製図 大連 （名古屋）	ＩＣ	図面名称 各伏図	工事番号 1142572700002	保管図面区分 【伏図】

※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。

Ver　25110　102194

工事投入　2026/01/06



【基礎入力図】ＨＶ５１　Ｓ＝１／５０

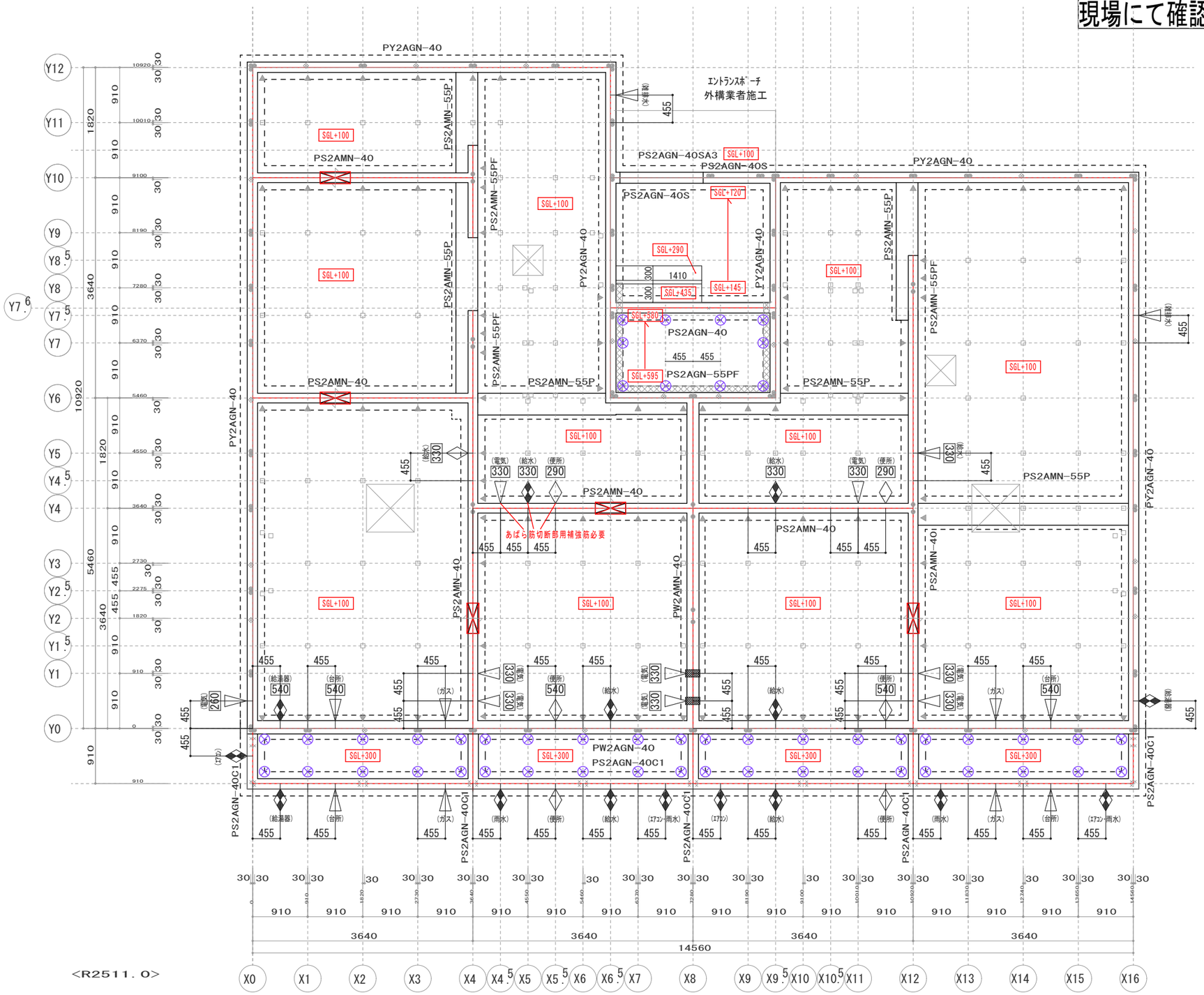
1148720631800O　2025/12/25

記事	※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。	大和ハウス工業株式会社 中部集合住宅一級建築士事務所	承認 / 照査 / 加古 その他の設計者	代表となる設計者 一級建築士　第301752号 大山　亘 企画製図：高谷　生産製図：大連（名古屋）　ＩＣ	工事名称	（集合分譲）安城市今本町ＰＪ Ｄ－ＲＯＯＭ新築工事Ａ棟	作成年月日 縮尺 工事番号 1142572700002 図面番号 Ｓ－06 保管図面区分 【伏図】
					図面名称	各伏図	

Ver　25110　102194

工事投入　2026/01/06

スリーブ位置寸法は計画寸法です。
現場にて確認・調整をお願いいたします。



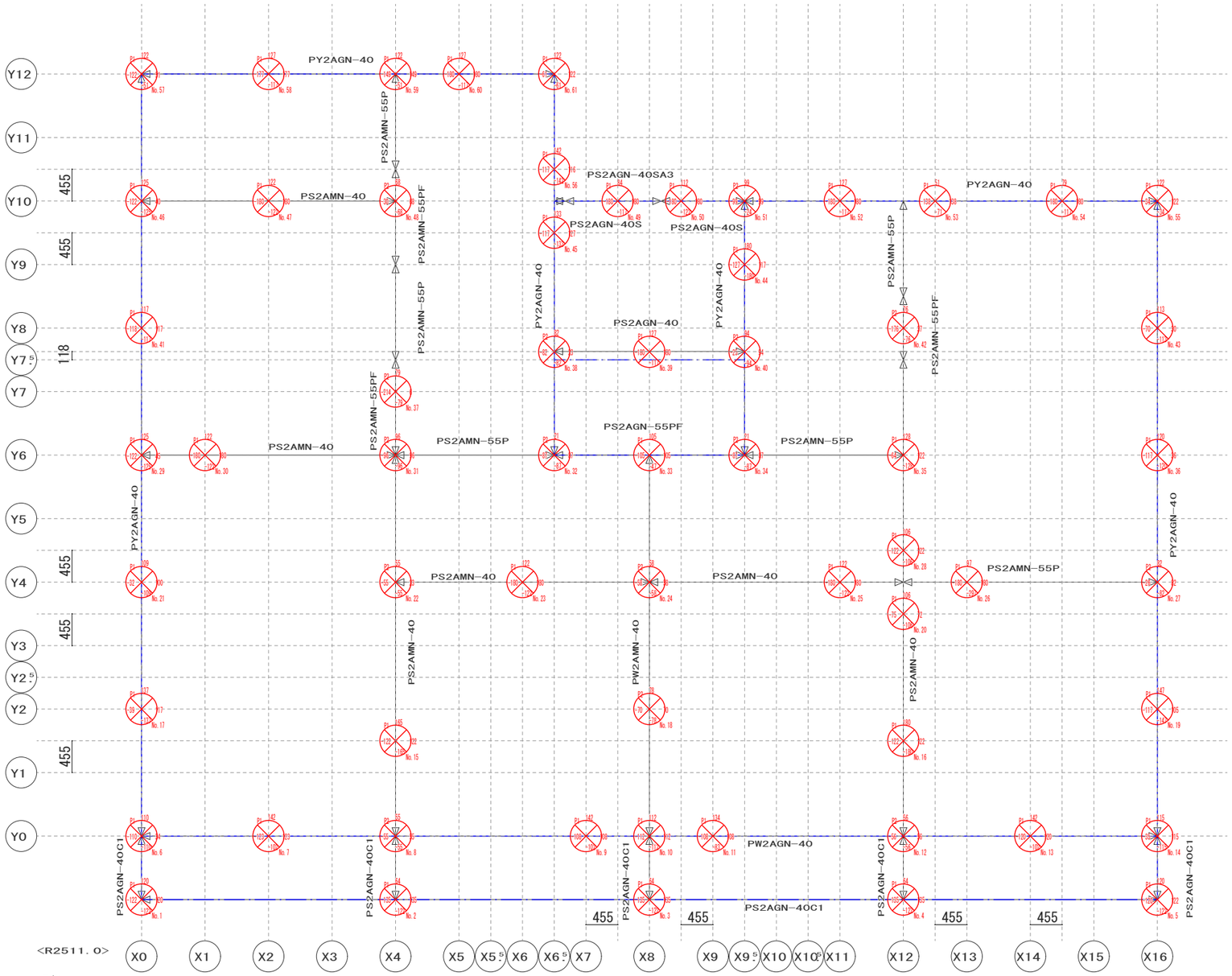
<R2511.0>

【基礎付帯図】ＨＶ５２　Ｓ＝１／５０

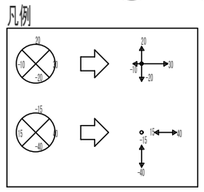
※本図面の縮尺は　A2 サイズを標準としています。 A3 サイズに印刷の場合は約　71 %に寸法が縮小されます。

記事		大和ハウス工業株式会社 中部集合住宅一級建築士事務所	承認 亀山 / 照査 加古 / その他の設計者	代表となる設計者 一級建築士 第 301752 号 大山 直 / 企画製図 高谷 / IC / 生産製図	工事名称	（集合分譲）安城市今本町ＰＪ / Ｄ－ＲＯＯＭ新築工事Ａ棟	作成年月日 2025/12/23 / 縮尺 S=1/50 / 工事番号 1142572700002	図面番号 S06.2 / 保管図面区分 設備図
					図面名称	基礎付帯図		

工事投入　2026/01/06



凡例



モジュール芯からの許容杭芯ずれ量(mm)

凡例

基礎範囲を示す

P1 ＡＬＫＴＯＰⅡ工法（拡底型）［1130Ｈ］

杭径　φ114.3mm
肉厚　4.5mm
先端翼径　300mm
杭長　1.58m
杭頭キャップ径　139.8mm
本数　46本
長期許容支持率　49.1kN

P1 ＡＬＫＴＯＰⅡ工法（拡底型）［1342Ｈ］

杭径　φ139.8mm
肉厚　4.5mm
先端翼径　420mm
杭長　1.60m
杭頭キャップ径　165.2mm
本数　15本
長期許容支持率　93.3kN

11487206318000　2025/12/25

記事

※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。

大和ハウス工業株式会社

中部集合住宅一級建築士事務所

承認	照査	代表となる設計者		
亀山	加古	一級建築士　第301752号 大山　亘		
その他の設計者		企画製図	生産製図	ＩＣ
		高谷	大連 (名古屋)	

工事名称	（集合分譲）安城市今本町ＰＪ Ｄ－ＲＯＯＭ新築工事Ａ棟	作成年月日	25/12/26
		縮尺	S=1/50
図面名称	杭伏図	工事番号	1142572700002
		図面番号	S06.3
		保管図面区分	【伏図】

工事投入　2026/01/06

杭番号	モジュール位置（P）		杭種	杭工法	杭長	モジュール芯からの許容杭芯ずれ量(mm)			
	X	Y			(m)	X方向		Y方向	
1	0.000	-1.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-122	120	-122	120
2	4.000	-1.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-135	135	-122	64
3	8.000	-1.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-135	135	-122	64
4	12.000	-1.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-135	135	-122	64
5	16.000	-1.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-120	122	-122	120
6	0.000	0.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-110	34	-110	110
7	2.000	0.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-123	123	-102	142
8	4.000	0.000	P2	ALKTOPⅡ（拡底型）φ139.8-4.5-1342M<U>	1.60	***-55***	***55***	***-55***	***55***
9	7.000	0.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-108	108	-102	142
10	8.000	0.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-112	112	-112	112
11	9.000	0.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-108	108	-83	134
12	12.000	0.000	P2	ALKTOPⅡ（拡底型）φ139.8-4.5-1342M<U>	1.60	***-56***	***56***	***-56***	***56***
13	14.000	0.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-120	120	-102	142
14	16.000	0.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-35	115	-115	115
15	4.000	1.500	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-122	122	-165	165
16	12.000	1.500	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-122	122	-180	180
17	0.000	2.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-39	117	-137	137
18	8.000	2.000	P2	ALKTOPⅡ（拡底型）φ139.8-4.5-1342M<U>	1.60	-70	70	-78	78
19	16.000	2.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-117	105	-147	147
20	12.000	3.500	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-75	72	-106	106
21	0.000	4.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-32	100	-109	109
22	4.000	4.000	P2	ALKTOPⅡ（拡底型）φ139.8-4.5-1342M<U>	1.60	***-55***	***23***	***-55***	***55***
23	6.000	4.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-180	180	-122	122
24	8.000	4.000	P2	ALKTOPⅡ（拡底型）φ139.8-4.5-1342M<U>	1.60	***-58***	***58***	***-58***	***58***
25	11.000	4.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-180	180	-122	122
26	13.000	4.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-180	180	-297	97
27	16.000	4.000	P2	ALKTOPⅡ（拡底型）φ139.8-4.5-1342M<U>	1.60	***-26***	***82***	-82	82
28	12.000	4.500	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-122	122	-106	106
29	0.000	6.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-122	45	-125	125
30	1.000	6.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-180	180	-122	122
31	4.000	6.000	P2	ALKTOPⅡ（拡底型）φ139.8-4.5-1342M<U>	1.60	-96	96	-96	96
32	6.500	6.000	P2	ALKTOPⅡ（拡底型）φ139.8-4.5-1342M<U>	1.60	-87	87	***-87***	***21***
33	8.000	6.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-105	105	-47	105
34	9.500	6.000	P2	ALKTOPⅡ（拡底型）φ139.8-4.5-1342M<U>	1.60	-87	87	***-87***	***21***
35	12.000	6.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-64	122	-128	128
36	16.000	6.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-117	36	-120	120
37	4.000	7.000	P2	ALKTOPⅡ（拡底型）φ139.8-4.5-1342M<U>	1.60	-214	6	-79	79
38	6.500	7.625	P2	ALKTOPⅡ（拡底型）φ139.8-4.5-1342M<U>	1.60	***-82***	***23***	-82	82
39	8.000	7.625	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-180	180	-111	134
40	9.500	7.625	P2	ALKTOPⅡ（拡底型）φ139.8-4.5-1342M<U>	1.60	***-25***	***94***	-94	94
41	0.000	8.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-118	117	-117	117
42	12.000	8.000	P2	ALKTOPⅡ（拡底型）φ139.8-4.5-1342M<U>	1.60	-176	37	-76	76
43	16.000	8.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	***-70***	***30***	-113	113
44	9.500	9.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-127	117	-180	180
45	6.500	9.500	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-117	127	-133	133
46	0.000	10.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-122	40	-125	125
47	2.000	10.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-180	180	-122	122
48	4.000	10.000	P2	ALKTOPⅡ（拡底型）φ139.8-4.5-1342M<U>	1.60	***-30***	***68***	-68	68
49	7.500	10.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-180	180	-117	84
50	8.500	10.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-180	180	-122	112
51	9.500	10.000	P2	ALKTOPⅡ（拡底型）φ139.8-4.5-1342M<U>	1.60	-99	99	-24	99
52	11.000	10.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-180	180	-117	127
53	12.500	10.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-138	138	-71	51
54	14.500	10.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-180	180	-117	79
55	16.000	10.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-34	122	-34	122
56	6.500	10.500	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-117	116	-142	142
57	0.000	12.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-122	51	-51	122
58	2.000	12.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-177	177	-117	127
59	4.000	12.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-149	149	-51	122
60	5.000	12.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-180	180	-117	127
61	6.500	12.000	P1	ALKTOPⅡ（拡底型）φ114.3-4.5-1130H<U>	1.58	-61	122	-61	122

記事

大和ハウス工業株式会社

中部集合住宅一級建築士 事務所

承認 管理建築士	照査	代表となる設計者		
亀山	加古	一級建築士 第301752号 大山 亘		
その他の設計者		企画製図	生産製図	LC
		高谷		

工事名称	(集合分譲)安城市今本町PJ D-ROOM新築工事A棟	作成年月日 26/01/05	図面番号 87-20631
		縮 尺	S06.4
図面名称	杭芯ずれ	工事番号 1142572700002	図面保管区分

Confidential

工事投入 2026/01/06